

# 令和7年度 自己評価・施設関係者評価報告書

令和 8年 3月 13日

学校法人 聖母学園 認定こども園長岡天使・聖母幼稚園

## 1. 本園の教育及び保育の目標

- |  |
|--|
| ① 神様とマリア様に愛され守られている事を知り、みんなと共に生きる子ども<br>② 美しいものに感謝し、何事にも興味を持つ創造性豊かな子ども<br>③ 基本的な生活習慣を身につけ、自律の精神を身に付ける子ども |
|--|

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画を基に設定した園評価の具体的な評価項目や計画

- |  |
|--|
| ① 「絵本」への取り組み ～情操教育、生きる力の取り組み～<br>② 「自然」に触れる ～自然の摂理に触れ、感性を育む～ |
|--|

## 3. 自己評価の実施状況 / 評価項目の達成及び取り組み状況

評価実施日	2026/02/20	評価方法	1年間の取り組みの振り返りを各個人が書面にて記入し園長に提出しまとめを職員へ配布する。
-------	------------	------	---

	具体的な評価項目	評価	取り組み状況
1	「絵本」への取り組み ～情操教育、生きる力の取り組み～	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内に絵本を置いたり、園だよりで紹介し絵本の良さ、楽しさを伝えられた。子どもの心に寄り添う絵本の選択が出来た。</li> <li>・職員自身が絵本を手にとることが多くなり、そこに子ども達が寄り添ってくれた。意識して絵本の読み聞かせをするようになった。</li> <li>・職員が意識して絵本の整理整頓をしたことから、子ども達も絵本の乱れに気づき、直すようになってきた。</li> <li>・一人や二人でじっくり読み聞かせを優しい声で読むよう心がけた。しかし「ちょっと待ってね!」いう事も出来ただけ寄り添うようにしたい。未満児はお膝の上で沢山の読み聞かせをした。また、衛生面にも配慮した。</li> <li>・絵本をホールに集めた事で、子ども達が絵本に触れる機会が多くなった。しかし、片づける事をもっと指導したい。</li> <li>・今年度は環境構成により、絵本が身近になったと感じた。</li> </ul>
2	「自然」に触れる ～自然の摂理に触れ感性を育む～	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭で野菜やお花を育てたことから、収穫した野菜を手にとったり、給食献立の中で調理し昼食に提供した事で、野菜が身近になっている。</li> <li>・散歩や園外保育等で、拾ってきたものを大切に持ち帰ったり、製作に利用したりと自然に触れる事が多くなってきた。</li> <li>・園庭の野菜作りを子ども達に計画的に取り組ませていたら良いと思う。(野菜担当職員に頼りすぎのように思う。)</li> <li>・保護者の方も野菜の成長に関心を示してくれた。</li> <li>・年中児のアサガオについては、子ども達が種まきから取り組み、観察を年齢別で行い、種の収穫まですることが出来た。この種で次年度も栽培したい。</li> <li>・今年は、年中児が博物館や公園・園外保育など、自然に触れる機会が多かった。年長児、年少児は、園外保育が少なかったが、園庭遊びでは、柿の実やキンモクセイのにおい、芝生の虫に興味を持ち自然に多く触れる事が出来た。</li> </ul>

(「幼稚園における学校評価ガイドライン」を参考に一部改変)

総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本も自然も心を癒してくれるもので、職員自身も手に取って、子ども達に優しく関わることが出来た。</li> <li>・環境により、子ども達の絵本を読む機会が多くなった。また、自然に関心を示し楽しんでいる子どもの姿が多くなった。</li> <li>・「絵本」「自然」のテーマは、身近なもので取り組みやすかった。全職員が関心を示してくれ共通理解のもとで取り組めた。</li> </ul>
------	---	--

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

#### 4. 施設関係者評価の実施状況

評価者	久保田 真規子（学識経験者）高橋 房雄（地域奉仕活動者）六車 寛子（父母の会会長）		
評価・実施日	令和8年1月20日(火)	評価方法	公開保育を 9:00～11:30 実施し、対面式及び書面にて評価をいただいた。 公開保育の実施内容を別紙添付

※公開保育の取組と組み合わせて施設関係者評価を実施した場合のみ、公開保育の実施状況が分かる資料を別途添付すること。なお、公開保育と施設関係者評価をどのように組み合わせたか分かるようにすること。

#### 5. 施設関係者による評価（上記 3. の自己評価結果に関する評価）及び意見の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙参照</li> <li>（ ・自己評価のまとめ ・施設関係者評価のまとめ ）</li> </ul>
---

#### 6. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	絵本の読み聞かせの継続と環境構成の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な絵本を紹介し、絵本に触れる機会を多く持つ。</li> <li>・少人数（又は1対1等）での読み聞かせも心掛けていく。</li> <li>・絵本の取り扱いや環境構成について、子ども達に社会マナー等含めて指導をしていく。</li> </ul>
2	園庭遊び、散歩、園外保育の継続と野菜作りの計画的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜作りを子ども達の話し合いに入れて、子どもが主体的に取り組めるように保育を進めていく。（子ども達が手を汚しての体験をする。）</li> <li>・年長児・年中児・年少児の園外保育を計画的に取り組む。</li> <li>・日々の保育では、園庭の自然に触れ、草花や虫などに興味関心を持つ。</li> <li>・アサガオのグリーンカーテンの作成、今年の種で次年度への栽培を継続したい。</li> </ul>
3	「うた～SONG～歌詞が奏でるメロディー・メロイデーが伝える思い」「聖歌」への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度は、日々の保育の中に幼稚園生活が楽しく、穏やかに過ごせるよう「うた」を中心に歌詞の思いや「聖歌」を子どもと職員一緒に歌を歌い、楽しんで生活していく事を取り入れていく。</li> </ul>

#### 7. 自己評価の結果・施設関係者評価の結果の公表の状況

公表時期	令和8年 3月 中旬～下旬頃	公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、学校関係者委員、職員には、書面にて配布する。</li> <li>・HPにて公開する。</li> </ul>
------	----------------	------	---

**公令和7年度 公開保育実施における評価表のまとめ**

- ・ 公開保育実施日時 令和8年1月20日(火) AM 9:00 ~ 11:30
- ・ 学校関係者評価委員 3人

認定こども園長岡天使・聖母幼稚園

項 目	評 価 (ABCD)				具体的にご記入下さい。
<b>① 教育・保育内容について</b>	A	B	C	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グランドデザインが整い、子どもが育つ方向性の共有と適切な言葉、環境で保育を行う準備が定着し、行き届いている。</li> <li>・ M教育の教材がもう少し増えると良い。</li> <li>・ M教育では、縦割り保育を生かした年長児のサポートが見られ、グループまたは個人で楽しく取り組んでいる。</li> </ul>
発達段階にあった教育・保育の設定がされているか	3				
教育要領に沿って教育・保育が行われているか	3				
特徴ある教育・保育が行われているか	3				
縦割り保育(M教育)について	2	1			
<b>② 園児の様子から</b>	A	B	C	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら教具を選び満足するまで続け集中する子どもの姿が見られた。教具を通し友達を思いやり相手を尊重する心が芽生えている。</li> <li>・ 保育者の話を落ち着いて聞き、発言も手を挙げて自分の意見を言っている。また、子ども同士も相手の作品に興味を持ち褒め合う姿が素晴らしい。</li> </ul>
園児は主体性をもって取り組んでいるか	3				
園児は楽しんで取り組んでいるか	3				
担任・子ども同士の人間関係が育まれているか	3				
年齢別保育について	3				
<b>③ 保育者として(人的・物的環境等)</b>	A	B	C	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者の言葉により心理的安全性が保障され子どもの考えを引き出す人的環境となっている。保育者や年長児を手本に子どもの関係性が温かく育まれている。</li> <li>・ お部屋がいつも綺麗で子ども達の整理整頓が身についている。</li> <li>・ 保育者がみなさん穏やかです。</li> <li>・ 園の特徴である、祈る姿は天使ようで穏やかな心の中で生活をしている。</li> <li>・ 保育者の連携にが取れている。</li> </ul>
一人ひとりの個性や主体性を大事にしているか	3				
教具・教材は適切に準備できているか	2	1			
保育者の園児に対する態度や言葉使いについて	3				
保育者の声の大きさや早さ、伝わり方について	3				
保育者同士の連携が的確に行われているか	3				
保育室が整理整頓、清潔に配慮されているか	3				
<b>④ その他・全体の環境構成等</b> (ご指導のほど宜しくお願い致します。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モンテッソーリ教育を基礎に子どもの縦の関係が育ち、人の気持ちを察する丁寧な関わりが感じられる。教具や遊びを通し言葉で伝える力が、各学年の発達段階で顕著に見られた。</li> <li>・ 自ら選び活動する姿が育っている為、年齢別製作活動についても、多様な素材から自己選択し、思い思いに自分の作品を作るなど環境の工夫に今後期待したい。</li> <li>・ シーズン毎の感染症では、登園自粛や休園することなく、しっかりと対策がされている事は良いです。</li> <li>・ 他者を思いやる気持ち、良くない言葉を使う子どもが少ない。そして、未満児の生活で、おむつ、着替え等の生活習慣が身に付くのが早く、保護者として感謝です。</li> <li>・ 大きな玄関ホール、安全な階段の手すり、明るい教室など環境構成は、ベストです。</li> </ul>				

○ 評 価    A  良い    B  普通    C  もう少し努力    D  もっと努力